

バストス週報

第1071号
昭和四十五年十一月十六日発行
Director
Koiti Mori
Redator
Kaion Oda
Rua Pres. Vargas 188
C. Post. 112
Fone 40 BASTOS C. F.
Annual Cr. 20.00 Adian.

霹靂 46

物価の今昔

開墾当時からバストスに居住されてい
る方なら誰でも思い出すだろうが、ブラ
拓が売り出した土地一地区十アルケール
の地価は一等地八コントス、二等地六コ
ントス、ウニオン二区は三等地とて十コ
ントスだった。それでは高すぎるといっ
て、日本道來者の中には他人を煽動して
土地代不払運動さえ起したことがあつ
た。

開墾五年目くらいの時、十年々賦に改
正され、私がウニオンへ入植した時の契
約書には、一、二、三年は各年五百針、四、五
、六年は各年一コント、七、八、九年は各年
一コントス五百針、十年目の終りには、
残金全部、といつても、一コントだが、
今から考えると、あまり桁がちがいます
るので真疑の程が判らぬくらいだ。
ブラタクの方では土地購入者を大団に
した。監督の青木さんを派遣し、入植者
の家族事情を探ぐらせろ、入植金を余計に
とると、最初の年に食料難を感ずるの
で、三年間は極力小籠にしたのである。
が、五百針というのは、今の五〇ピクタ
ーボで、小供が鉛玉を買つて遊んでし
かない。
その初年度の入金が中々出来ないので
あつた。

ウニオンI区の入植者で希望者へは營
農資金を貸与する規定が設けられ、三コ
ントまで貸してくれた。その金も三年据
置き、四年目から毎年一コント宛返却す
ればよかつた。その僅かな金の督促を受
けても支払いかわるのが当時の経済事情
であつた。私、自分のことは余り云い
ないことはいないが、日本に居たころは金の
殺腕に金の着で飯を食べていたようなこ
とを云言した手前、五百針の入植金が無
いと云えず、ひどく苦慮したものだ。
た。營農資金三コント貸してくれるとき
は思はずブラ拓株と伏し拜み心の中
では含等した。

ブラジルへ行つたら数年の内は一とか
どの地主になつて、というのが目撃だ
つたが、二、三年うだつが上らず、食べる
のがやつとの思いだつた。そんな情態で
土地を入手することなど到底不可能だつ
た。それが文なしでウニオンI区の特等
地へ納まつたのだから、不思議といえ
ば、こんな非常理なことはいないだろ
う。私

毎度ありがとうございます。
御宴会と御会食、御仕出し
と出張・日本料理と
ブラジル料理
バストス名物料理



忘年会
新年宴会
は
どうぞ森川で

HOTEL PRIMAVERA

バル
食
ホ
ホテル
ブ
ヴァ
ル
ガ
ス
街
森
川
悠
一

電話 九二番

はどの營農資金でターボアの家を二軒作
つてもらつた。サーラ1、寢室2、コシ
ンニマという小さいものだったが、二軒
で二コントだつた。村野寺間貸共だか
う驚く。

そして、その一軒には両親が住み、他
の一軒は歩合作をする人の住居とした。
待望の地主になれたのだから、自分の土
地へ入植すればよかつたが、自信がな
かつたのだ。腕に覚えがなかつたのと、營
農資金もなかつたので、土地は人寄せの
不在地主、私自身は精米所の従業員、産
業組合の職員、遂にはブラ拓さんに拾
われ、上聖したり、ずつと安月給の暮し
をつづけた。今だから白状するが、産
業組合時代には六百針、ブラ拓時代は二コ
ントという中級だったが、おそろく自分
で土地を経営しても、その位のものでは
なかつたろうか。ただちがうことは、早
くから入植して苦心した人たちは、今
日養鶏、養蚕、果樹、家畜などで大成さ
れて、いるのに、イースト・ゴイングな
道を選んだ私は、若い時はよかつたかも

Relojoario TAKAMI

おしらせ

十一月十五日より 十二月三十一日まで

15-11 31-12 夜間営業

御客様にブリンデ (BRINDE) を差上げます。

年末特別デスコント二〇% ≡ 三〇%

御客にクーポンを差上げます。

24-12 ナタールの日に抽籤!

幸運は誰の手に? 五百コントスの賞品はどなたに?!

時計・ユビワ・宝石・貴金属

花器・オブジエ・その他種々。

タカミ時計店

アデマル・デ・バールス街二一五四 FONE 一五四

知れぬが、根無し草生活のまま老年期へ時代があつたが、バストスでは食つてい
突入したため、今以てあちらの岸、こちら、北パラナヘムダンサする時、土地の懸
う播いた種子とはいえ、いかにも愚かし
い世渡りであつた。

横道にそれたが、ブラ拓から土地の分
譲を受け、地主になつたのはよいが、そ
の土地代をどうして私つたか記憶にない
が、先日古い書類の整理をしたところ、
大型封筒にブラ拓関係の書類が見つかり
、中を開いたところ、土地代の領収証、
管農資金返却証などが入つていたので、
やつと不義理はしてゐなかつた事は判つ
たが、自分の懐から私つたのではなく、
歩合をもらう度毎に納入してつたものら
しい。十年ほど自作つてもらつて歩合金
で土地代を完納したのだから、考えよう
では無償でアルケールの土地をもらつ
たようなものである。今まで持つて居れ
ば一万コントスぐらいになつただろうに
、何をぼんやりしてつたものか、四、五
十コントスで売つてしまつた。今から二
十年も前のことだが、土地の買手とて
ない時代で、あの廻軒並十コントスか
十五コントスで手放したものである。
戦後バスターズのタバコといはれる

けなさい。と見た人々が、奥パウリスが
、北パラナヘムダンサする時、土地の懸
分にこまつて、サウデ区では五コントの
捨値で売つて行つた話ものこつてゐる。
しづい藤で買つた人は、のちに大地
主となり、一躍土地成金になつてしまつ
たのだが、人間の運不運は神様でもお判
りあるまい。

ひとの捨てゆく土地を安く入手して幸
運をつかんだ人は、バストスに可なり多
い筈である。

私は自分の土地に、遂に入植せずじま
いかと思つたら、サンパウロ居住中、大
平洋戦争が起り、追放されて行き處がな
く、こそこそとバストスへ戻つて来た。
ウニオン区に土地もあるし、契約者
も出るの、とりあえずもぐり込んだ。
仕事は養蚕である。谷口場長さんに相談
し、桑の押し方から教わり、巡回教師も
派遣してもらつて、養蚕家になりすまし
た。

桑の枝を三十センチ位に切つて一方を
とがらせ、雨後に押しはわけけない。一
家中で三アルケールばかりの桑園を作り
、それが生長する迄での期間養蚕小屋を
建てたり、諸準備を進めた。まだその時

はシツチの遠い方へ行く。ペローバのいい奴がごろごろしてむたので、毎日トムラツサドルを持ち出して娘相手に三米のトールに引き切り、馬一本づつ運んだ。上材は全部セリアのもの、割合小ざれいに出来たが、費用を計算してみると、四コント一寸だった。七×三〇Mの総板張り四コントとは、何と安上りであろう。大工さん一日三十針、十日位指揮してもらった。

大戦が終了すると、家の如くバニツク襲来で、養蚕で生計の見込みは立たなくなり、バストスから逃げ出した人の一番多かつた頃である。買うものも安かつたが、売るものも安かつた。土地を十コントで手放したのはまだよい方であつた。安いといえれば私がノ口線からバストスへムダンサした時雇つたカミニオソは五百針だったが、五百針一度に払うと、食費に差支えるので半金とし、残りは一カ月延ばしてもらつた。

バストス初期の産物は、綿花だが、私の記憶では、産業組合が協同出荷で頑張つてやつと一アローバ九針だったが、九針では生産費を割るといふので、大分大騒ぎをしたことがある。後年組合が棉マキナを経営するようになった。棉作りもやや安定したが、棉買に叩かれ放題の三四年は、百姓では頭が上りぬと思われ、養蚕は、戦争中は敵国のパラシュートの材料だから、養蚕家は非国民だなどといわれたが、往年ニキ口四針の筒は忽ち五百針になり、銭の置場がない。銀行はいつ潰れるか判らず、うっかり引出しにでも入れて置けば、盗人にやられる。もの五〇コント、百コント紙幣束となるとおき場がない。私の近所に森原老が居て、銅板で箱を作らせ、油紙で紙幣を包んで蓋をハンダで密着する。それを土中に埋けるのが一番安全だと教えてくれた。但し目印を忘れたら大変なことになる。

金の五六百コントもそうして死蔵するわけだが、今のバロールにしたら五万コントにもなるだろう。そういう有難い金蝨の養蚕も戦後のバニツクには、あれ程花一朝の栄と吹つとんでしまつた。

バストスの産業は養鶏に一変する。養蚕小舎が鶏舎に早変わり、これから後の事は各位が身を以て体験された通り、玉子も安かつたが、ピンも安く、経済用語でいうと、デフレ時代で、多少の漸騰はあつたが、低経済が長くつづき、貧乏の差も、さほどひどくなかつたかと思われ、土地代、家屋代がぼつぼつ上昇しはじめたのは一九五八、五九年頃、物

最低給料が論議され、クビチエツク大統領時代には、何となく世の中が浮き浮き

して、金廻りがよくなり、売るもの買うもの、やたらと高くなりだした。四十コントを買えた車が百倍もするようになり、最低給料も七〇、八〇、九〇と上つていった。

所謂インフレ時代であるが、生活が苦しくなるといいながら、金廻りはよく、頭腦のいい連中は動産、不動産を売買して派手な金儲けをして伸びに伸びた。社会というものは、ある程度の活気を要する。インフレ狂気も困るが、四十年前の十コントの土地が今も同値というのには張り合がない。といつて、一万コントにもはね上つては、これも困りものである。

政府は愚命にインフレ押えをしており、生活費は年間二〇%そこそこのことであるが、庶民の生活では、こまごまとものなど、一寸と知らずに居ると倍にもなっていることがある。

ここ二十年ぶりの物価と比較すると、昔は何と安かつたことと、三嘆せずには居られない。

空さびんの口にくつつろに風が鳴る
父の訃報を読みてたまたまに
土井はやし
善はすこともなく父を遊かして
御燈し欠かさず物を供する

太郎田屋三シン部の年末大安売

現金の場合	10回払の場合	16回払の場合	20回払の場合
ムルチポンテMULTIPONTO 毎月 CR# 700.00カラ	CR# 88.80カラ	CR# 72.00カラ	CR# 64.00
ジグザグZIG ZAG 毎月 CR# 57.00カラ	CR# 71.30カラ	CR# 57.80カラ	CR# 51.40
ポントデオーロPONTO de OURO 毎月 CR# 43.00	CR# 53.70カラ	CR# 43.50カラ	CR# 38.70

- ◎ 太郎田屋三シン部からお買い上げ下さいましたシンンなら、如何なる故障でも速刻**無料**で調節修整致し、末代まで保証致します。
- ◎ 尚月賦方式は種々ありますから、御来訪願います。
- ◎ 古ミシンと、新しいミシンと交換も致します。

來年度の予算

本年度の事業展望

問「来年度の市役所の予算がきまってきた様ですな」

S「ああ、一九二一年の予算は、九十九万五千コソトを上廻ること。コソトと再調査の結果、バスト又郡がもううことなるICM(流通税)を確認されたものだ」

問「第二グルッポ校は只今、アギア、アギア、アイア校の校舎を借りて授業をして

S「実は整地がきまると同時に市長さんは、その方にも積極的に運動をつづけて来ているのだ。昨今の様子では、松原市長は州政府と交渉を重ねた結果、愈々近い内に建設に着手するといふことだ。ここ迄話が進んでいるから今暫くの辛棒だ」

問「例のサンタ、カマ、アギアはどうか」

S「現在の病院の敷地内にサンタ、カマ、アギアを建設することも決定している。予算四十八万コソトの内、州のカイシマ、工コノミカから三〇万コソト借款を受け、一八万コソトをバスト又市役所の来年度の予算から出して賄うことになつてはいる」

問「ついで乍ら、ランシマリア街道のアスファルト舗装は見込がありますか」

S「周知の通り、とにかく、アスファルト舗装化運動はつづけてはいるんだが、そのためランシマリア市長とバスト又市長が協定を結び、コンチネンタル会社の牧場東寄りを通る新道をリオ、デペーシエ道ラ市が作り、バスト又側は、やはりペイシ河道の道路を作つて、ほぼ完成している」

これ迄の道路とちがつて、街道全部にわたつて砂利を敷きつめると、アスファルトではない道では聖州一の道路といわれる。費用はラ市の方が長く、バ市は短い。二〇万コソトは投入していると思われ、まあ、このようにして、アスファルトにしてもらう日を待つわけだ」

問「農村娯楽センターというのは、誰が作るのですか」

S「あれは州政府の補助金で建設したもので、大体完成に近い。農村青年に娯楽の場所を与えよといふ趣旨だね。どういふ施設になるか、色々運動娯楽設備ができらうしい。集会の場所もある。農村だけでなく

御 禮

去る八月八日、グルッポ校前で交通車頂の起きました節多数の負傷者の中、私方の娘みどり(エレナ)も両脚に可なりの重傷を蒙りましたが、ツパン市病院並に専門医の治療により、御蔭さまにて全快いたしました。だが、その節は皆様より御手厚き御見舞を受け、まことにありがたうございました。

一々御礼に上る筈の処、事情御斟酌を賜り、失礼乍ら紙上を以て御礼申述べます。

一九二一年十一月十日
中央 五組

小林 春雄
光 枝

各 位 様

町の値しも出来るようになる」
問「州立中学の横に出来た建物は何ですか」

S「州教育局の補助金で建てられたものだ。中学上級生に工業の習識を養成させようという主旨で、工業に関する色々なものがあり、学生の実習場となつてはいる。ついで乍ら、カヌカッタの麓の上にある橋だね。これ道しはれば水禍でやうれて困っていたが、愈々本年度の事業として完成、鉄骨コンクリートの立派な橋になり、奥カヌカッタ方面の人々から喜ばれている。まあ、昨今のノビグーデはこんなところだ」

話題提供並に解説、崎田春一氏

近 詠

遠野火の一柱ニ柱夜となりぬ
鳥帰る汽車行く空を遅れつ、
黄イッペ花見心のヒホカ霞ふ
国境ヤボリピア側の蝌蚪の水
草原を渦巻き翔ちて嘸れり

念 暇

ラオスの高原地帯

2

サラバン攻撃の中に中国の雲南省の兵隊が政府軍の中に何人もいるという話である。ただしこれはまだ未確認の情報だとのことである。しかし、チナムバサク近くのタイ国境山地で、数人の中国人軍事顧問が、時には百人以上のタイ愛国戦線ゲリラの軍事訓練にあたっている。事実、パクセで確認されている。

またパクセの軍司令部を併去しようとしたときに「グット、モーンング」といながらはいって来た米軍将校を、私は目撃した。

「あ、アメリカの軍事顧問だ。これまで米政府は、公式には否定していたし、ジャナリストが見かけたのもみな私腹姿であった。軍服を着ているのを目撃したのは、われわれが最初ではないか」ペテランの石川カメラマンが興奮してそう早口にささやいた。

ラオスの内戦はボロベン高原を焦点とする南部戦線の展開いかんで、その性格が大きく変わるかも知れない。いままではプーマ首相が建前としては連合軍内閣の線を堅持し、パテト、ラオ側も南ベトナム解放戦とちがいで、国を二つに割るような臨時政府の設立を避けてきた。ともにベトナム戦争にはまきこまれまいとする、限定戦争を続けて来た。しかし米軍、南ベトナム軍のカンボジア侵攻をきつくとする戦火のイヌカレシジョンは、今後ラオスにどのような限定戦争を許すかどうか。

「線」から「面」に広がりはつあるホー、ルート、それは新しい聖域だろうか。中国がいよいよインドシナに介入してきたのだろうか。南ベトナム北部に集結していると伝えられる米軍は、ラオスにも地上軍を介入させるつもりだろうか。南部の右派からの圧力を、

緊張の色が全くない最前線の町

バクソンはいまや燃えあがりつつあるボロベン高原北西部のほぼ中心にある。人口は八千とされるが、ラオスの他方同様、戸籍調査もろくに行われていないので実数はつかめない。肥えた土地と温和な気候に恵まれ豊かな野菜の産地である。アトプーから約八十キロ、サラバンから約六十キロの辺りにある。

アトプー、サラバンの次はバクソンだ。と言われる点では、いわば最前線にあるわけだが、実績は周囲十里を以て遠はす。かり、政府軍の支配を離れている。いわばボロベン高原という「赤い海」に浮ぶ最後の

緊張の色がない。農夫たちは忙しげに野菜をこび、子ども達が日溜りで泥まみれになって遊んでいる。道路ばたの農場では、数頭の牛が山のように積み上げたぐずぐずスタスをうまさうにたいらげている。大通りに面したベトナム人の飯屋のおかみさんは、「戦争？、さあね、十年も前からこんな調子だからね」と首をかしげた。

守備軍の兵士たちを町のあちこちで見かけたが、同様のんびりした表情だった。数人の兵士たちは、川で下着や靴下を洗濯し、ボチマボチマと泳ぎ、腰巻一枚で川原で甲羅を干していた。

私が登った丘の反対側の丘の上にバクソン守備隊の陣地があり、そこはさすがに警戒厳重で有利鉄線を三重に張りめぐらし、鉄板張りの兵舎の壁には装甲車も置いてあった。

のどかなバクソンの印象であったが、その表側には、戦禍がシロアリの巣のようにはむしげんでいた。バクソン病院には四人の負傷兵が入院していた。フィリップピン人のピット医師（巴）の話では、数日前までは十数人いたそうだが、軽傷者はみなバクセの陸軍病院へ移し、ここに重傷者だけが残って

七一年

年賀広告を

うけたまわります

バストス週報社

週報誌代(市内の一部を除き)

集金に廻りませんから
勝手ながら御出町の節
御立ち寄り下さい

バストス週報社

いるということである。重傷が意外に少ないのは、徹底抗戦しないせいもあるが、米軍とちがい負傷者救出機動力がないからである。

負傷の一人、夕オ、レイ軍曹(主)は一週間前にサラバン周辺をパトロール中、フオンタンという村で地雷にあつた。右足を膝から吹飛ばされ、左足と右腕にも骨までとどく重傷を受けていた。

「なお、でもビッコじゃ百姓はできない。軍隊もお払い箱で、これからどうして食っていけばわからない。子どもが五人もいるのに」

彼は暗い表情でつぶやいた。一つ置いて隣のベットには、下顎部を砲弾の破片にもぎとられた兵士が栄養管を口にさしこまれ、うつろな目で天井を見ていた。「二日前に来たんだが、しゃべれないから、名前も部隊名も、どこでやられたのかもわからないんだ」

と、夕オ軍曹が教えてくれた。その隣には爆撃で全身に大やけどを負った若い農婦が、顔を包むだ包帯から目だけをのぞかせて、無表情に私たちを見つめていた。

「彼女はちよ」と助からないかも知れない。以前は農民の戦傷者は少なかったのだが、最近ふえてきたようだ。この病院では、ここ十日ほどの間に、彼女で四人目だ、とピット医師は言う。

バクソンの村の入り道、私たちは23号道路を二時ほど行った小さな村をたずねてみた。その村の入り口で、サラバンから帰還したばかりの敗残兵を見かけた。泥まみれの軍服のズボンにシマツ一枚、ゴムゾウリをはき、杖にすがつてよろよろと村にはいつてゆく。サラバンの戦

闘で部隊が散り散りになり、妻子に会いたい一心で三日かかって歩いて帰ってきたのだという。干し肉や、木の実を食べべつないで、夜もろくに眠らずに歩いた。「チマン、ケヌオ軍曹だ。年齢は四十七歳」と、彼は力のない声で名乗った。「激しい戦闘だった。夜明けに攻めてきたので応戦する余裕もなかった」

それだけ話して、よろめくように自分の家へはいっていった。「敵はやたらに強かった」と負傷兵、バクソンの陸軍病院。ここも、平和な町の中で戦禍の病巣が露呈している場所である。

私たちが訪ねてきた時には八十一人の負傷兵が収容されていた。サラバンの陥落直後は二百人迎かつたが、軽傷者はみな退院させたという。負傷者の一人モ、ク大尉(主)は、サラバン市の役人で、民兵の中隊長であつた。サラバン市の市

新発売

ガス用風呂沸し器

百二十リットルの水が二十五分でわく

木炭より軽便

点滅自在で

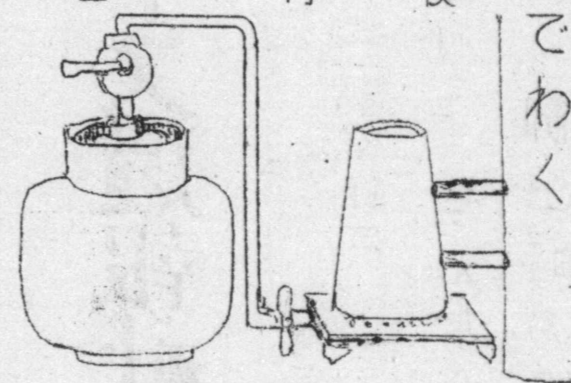
すこぶる便利

で経済的

自転車の修理

並びに

附用品とペッサ



FUNILARIA SHIMIZU

清水鋳力店

ツギ、デカシヤス街、ロードビヤリ才近

街戦で、九日の午前三時頃、左胸に貫通銃剣を受けた。

「二時間ほどの激戦で、懸命に戦ったが、敵が多すぎた。味方は二百人しかいないのに、敵は六個大隊、三千人も来たんだから」と、モ、大尉は力説するが、二百人対三千人で二時間持ちこたえたとは、ちよと信じられない。

「ロケット弾の破片で左足を負傷したルーテ、ブソソンのさん(三五)は、モ、大尉指揮の中隊にいた民兵の一人である。彼は「敵はやたらに強くて、あつという間に攻めこまれた」という。敵がなだれこんできて白兵戦になったとき、彼は敵の服をつかみ、髪の毛を引張って必死にあげ、やつとの思いで逃げだしたという。しかし、隣にいた僚兵二人は、銃剣で刺殺された。

バクソンのノンビリした兵士たちに比べると、陸軍病院の負傷兵たちは、どこかけわしい表情を見せていた。しかし、それでもユーモラスな明るさを失つてはいなかった。

市場へ向う農民の頭上に爆撃機

(米国際開発局)のC123輸送機で空輸中であつた。着の身着のまま、家の中をのぞいてみても何もない。

長崎の原爆、永井博士の手記 ②

長崎市の田川福松さん方から発見された「原爆爆撃隊報告」の筆者を当時長崎三山救護隊本部副長であった台湾人の施焜山（現台湾にて開業医）に国際電話を掛けて聞き合わせると、施焜山氏は「あ、それは先生がお書きになったものですね。『永井隊長は』と書いてあるんでしよう。先生はよくさういうふうに書かれたんです。私たちなら永井助教授と書きませぬ。久松婦長が見たら筆跡でわかるでしょう」と答えがえつてきた。いま長崎大医学部付属病院の副総看護婦長であるその久松シンノさん（四六）をたずねると、

「永井先生の字は、もちよつと丸味があるんです。きつと、だけれど先生の口述筆記のお手伝いをしたんです。ここに『出雲国ノ方言ニ』とありますね。先生は松江のご出身でしたかつ、内容は先生のものと思います」と証言した。当時、外科の教授で永井博士のキズの手当をしたと、この報告書にも登場する調采助、長崎大名養教授は、

「あのどさくさの中で、よくこれだけのものを書き上げたと感心します。臨床的にも実にくわしく、いまからみても訂正の必要のないくらい立派な報告書です」と感嘆したが、読んでいただけはおわかりのとおり、簡潔かつ委細をつくした名文である。

本誌（週間朝日）はここに、被爆直後の同隊の行動を記した第三章のほぼ全文を収録した。なお原文は旧仮名の片仮名書きだが、これは現代表記の平仮名に直し、難字や固有名詞にはふりがなをつけた。読みやすくするため、適宜、編集部で改行した。

のたうちはい回る外来患者たち

第三章 本隊の行動

第一項 爆撃当日

爆撃瞬間に於ける各人の位置は次の通り。永井隊長はラツソーム室の自分の机で古いレントゲン写真を整理して、教材と破棄とに分けていた。施副長は現像室で森内雇と共に現像中、梅津雇は治療機材整備、友清雇、施雇（注、焜山氏の弟）格山看護婦は内科地階に撮影機材取付、久松看護婦長は受付で夫々働いていた。山下、浜、井上、大柳、吉田の五看護婦はちよつと運動場の増産地畑へ畷の手入れに出かけた。小笹雇と大石看護婦は欠席である。

ピカリ、運命の一瞬！皆はやがて色々

博士はバストス第一号

アラサツトバ毒科医大渡辺助教授は「脳感骨角度の進化と成長の変異」を直立との関連性」をテーマに研究を進め、十月十七日同大学内で博士論文に合格した。渡辺一誠教授はバストスのカスカツタ医生れ、カンビーナ毒科医大を卒業後アラサツトバ赴任して講義の余暇に研究を続け、今回めでたく名誉ある学位を得たものである。同氏は渡辺隆氏の息子さんで二十六歳の若さを博士号を得、正教授に任ぜられた。博士号ではバストス出身の瑞矢である。

御礼

金一封
此の度貴家聖市に御移転に際し記念のため前記御寄附下さいました。厚く御礼申し上げます。
樋口敬郎様・ヒサコ様
ウニオン区

御礼
金一百クルペーロス也

右は貴家御令嬢エリナさん交通事故のため大怪我をなさいました。厚く御礼申し上げます。
小林春雄様
バストス聖母婦人会

おしらせ

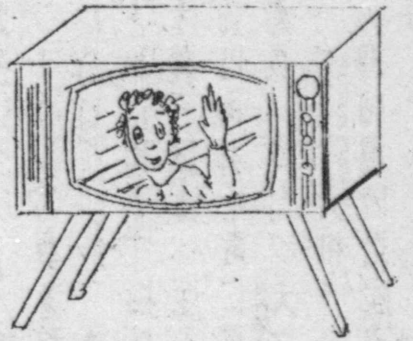
カルテイライズイデント
ブラッシル生れの方も
帰化した方も
（十四才以上、十六才までは父親のアウトリザッソングが入用）
カルテイライズイデントデータを取得して下さい。

A V I S O

御注意
旅行中バス、汽車の乗り降りの節、その他時々カルテイライズの提示を求められることがあります。
モートリスタの免状、上級学校へ進学の場合等すべてに必要です。
ブレントテ、ヴァルカス街三一二番

法律事務所
森重五男
電話二〇〇〇番

Eletro Radio Oriente



テレビジョン各種
ステレオ電音各種

ラジオ・ピアノ・金庫・タイプライタ
扇風機・ラジオトランジスタ
冷蔵庫・洗濯マキナ・グラバドール
その外何でもあります。

各種家庭用電気器具類一切

ガルサ市・エイトロ、ペンテアード街 一 一 一番

本店 八巻兄弟商会

ガルサ電話七七三番・郵函二七九番

御注文は、バストス市 ツッキデカシヤス街角

代理店 宇佐美宗一

電話 自宅 一 二 五 番
店舗 一 六 四 番

は器具の下に埋められた自分の運命を知連呼しながらラジウム室へ入り、重傷の
った。視界は全く暗で何も見えない。や
られたな。目の前に爆弾がおちたな、そ
れにしても落下音がきこえなかったな、
怪我をしてしているな。火が過ったらおしま
いだな。出られるかな、他の連中はどう
だろうなどと断片的に考える。そして手
と足と尻と頭とで彼が此方押しこめる。
真先に自力脱出したのは内科地階の婦
長、友清等の一団であつた。顔を出して
見ると視力が回復して、もう内科の表、
レントゲン疎開跡の木材置は発火してい
る。婦長は含嗽をして一杯呑んだ。それ
から椿山と共にバケツを以て火を消しに
働いた。なかなかの大火だ。二人では防
げない。
そこへ受け付けた橋本が駆けつけで「部
長先生が埋まった」と叫んできた。「ま
あ、あんげん太かとは、どげんするえ」と
と椿山が言った。それ行けと走り出すと
、渡り廊下が吹飛ばされてしまつて、玄
関へ行かれない。人梯子を作つてコンク
リート壁をのぼり、看護婦達は薬局の高
窓から飛び込んでラジウム室へ駆け込んだ。
そこには半身血まみれの隊長が突立っ
ていて、駆けつけた部下の肩を叩いて「
よかつた」と言つた。施設長は現像室で
天井の下敷となり、胸を抉まれたが、ど
うやらこうやら脱出して、「部長先生」と

隊長を救出したのであつた。施設長が「
森口が埋まつとる」と思ひ出したように
言う。隊長と友清と副長と三人、現像室
へ入ろうとするが、何や彼や打重なつて
追いつけない。のぞいてみても人間の手足
と遠くない。呻声もない。うまく脱出したに
そこへ治療室からよろよろと梅津が出
て来た。皆駆け寄つた。これは全身真赤
だ。目がなかなばい」といふ。「何言うか
、目はあるばい」と施設長が言つて、そこ
へ坐らせた。目の上が十層も裂けている。
その他全身硝子傷だ。皆がかりで薬を
つけ、がーを押しこんで三角巾を巻い
た。隊長が「山下は」ときいた。婦長の
顔色がさつと変つた。「外です」、椿山
が「運動場へ行くと言つて出かけました
と云う。まだそこらにいるかも知れん。
探せ」と隊長・橋本と椿山とが五人の見
えない友の名を呼びながら火の方へ走
て行つた。その後ろ姿をじつと見送る。
山下、井上、浜、大柳、吉田、……五人の
顔が鮮やかに次々と目の前に浮んで消
えた。
隊長が耳を押えていた手をはずしたら
、赤い血の糸がビュウビュウ飛出して
る。「部長先生、血が」うん、知つとる。
ガラスだよ」と答えた。……、九夏へ

そこで施副長と婦長とが圧迫タンポンを詰めて三角巾で締めた。白い三角巾が見る見る赤くなつて、果ては膿のあたりからポタリポタリと滴る。動脈がやられてゐる。「施君、友清、機械はどうだね」「はい」と二人は別れて室々へ入つてはカタカタとやつてゐる。

もうその頃は内科、婦人科、皮膚科などの外来患者が廊下で負傷して、裸体の血だらけの、皮靴の、燃け頭の、乱れ髪、の地獄姿で、そこらあたりへのたうろ回つて、吾々の足元へ蹴りつけて来はじめた。隊長と婦長とが応急手当をしてゐるやがて外から橋本と椿山とが泣きながら帰つて来た。それを迎えて皆暗い気になつた。山下らはどこにゐるのだろうか、今息の絶えるところではあるまいか。目の前にころび、次々動がなくなる血まみれの傷者を見ながら、五人を思う。「何処もやられています。大変です。病院の真中から火が出て大分燃えひろがり、後の方とは連絡がつきません。大学の方は建物が見えずに火の手ばかりです。町はありせん。路は死人と負傷者で通れませんが」と、口々に報告する。

公害防止関連株の内幕

日本では少年マンガにまで公害問題が取り上げられる現在、神経をとがらせてゐるのは被害者になる側ばかりではないようだ。

神奈川県酒匂川に工場の廃液を流している大日本塗料では、放水する前の廃液を特殊処理によつて浄化してゐると発表。株が上つた。

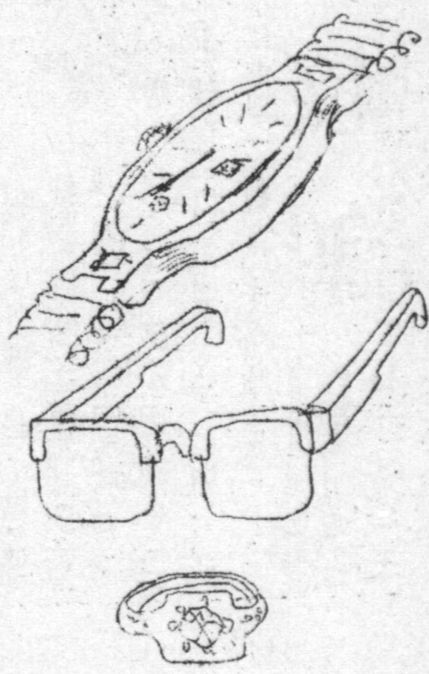
なかなか結構な話だが、株価操作じやないのかと疑つてかかつた人もおり、それならばと、会社は、証拠をお目にかけて、ましようとなつた。公害防止事業部を設けて、いかに防止に腐心してゐるかをPR。そのひとつが放水する寸前の廃液の中で飼われている鯉である。酒匂川に放すより廃液の中に入れてはうが元気がいい、とはずいぶん苦しいPRだが、公害防止関連株という言葉が出来るほどの作り、信用してもらうのも楽じゃない。

迷いユービン

57a. MITSUKO SADAMATSU C. Post. 65
Remet. Dices Ruts. C. Post. 28
Vra Jales

RELOJ'CARIA TAKATA

高田時計店
年末売出し



進級、卒業祝
記念品に最適な
プレゼント
腕巻時計
高級万年筆
宝 石
ロードビアリオ前
タカタ時計店で

おしらせ
養鶏座談会

第一製薬KK大阪支店拡張部
特薬第一課

獣醫 松井俊征氏

による、新らしいスルファ剤の正しい使い方、特に希望に応じ、養鶏場で実地指導も致します。

○場所 バストス又総合会館
○日時 十一月十八日夜八時より

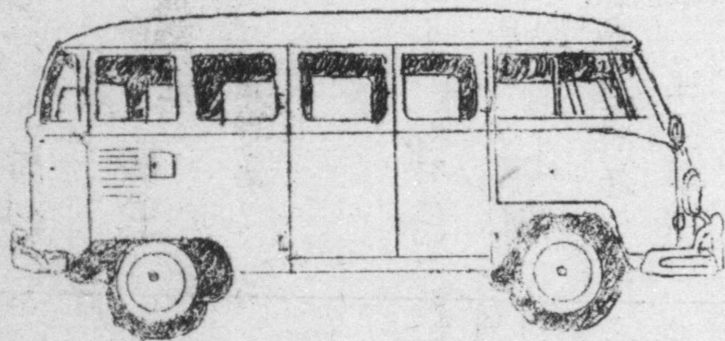
○十八日、十九日、二十日の昼は実地指導を致します

主催 第一製薬KK
後援 バストス文協産業部

CRUZAUTO

Oswaldo Cruz Automoveis Ltda.

Conserto en oficina terão desconto de 20% sobre mão de obra Aquisição das peças terão deconotos de 10%,



クルザウト自動車有限公司

オズワルド クル-市郵函 156

修理は 20% の割引

ペッサは 10% の割引

世界の高級車ヴォクスワーゲン

中古車を引取り新車と交換
銀行融資販売の御世話致します

Aviso de Cine Pastos

十一月十七日(火)	十八日(水)	両夜とも八時
日活	現代っ子	鈴木やすし 小沢栄太郎 中山千賀 市川好郎 桂小金吾
日活	美しい十代	浜田光夫 西尾三枝子 松尾嘉代 宇野重吉 三崎千恵子
天竺色	博徒列伝	鶴田浩二 藤純子 北島三郎 若山富三郎 待田京介 高倉健
十一月二十二日(金)	八時 二十一日(土)	九時半
天竺色	祇園祭	京都府・市 協力 芸術祭参加作品
空前の大殺陣、日本刀のオールスターの圧巻、監督 小沢茂弘 脚本 笠原和夫		
十一月二十二日(日)	九時半 二十三日(月)	八時
日本映画復興会製作	松竹映画会社 配給	日本映画空前俳優陣
監督 伊藤大輔	山内鉄也	龍花久子 高倉健 伊藤雄之助 美空ひばり 藤原釜足 下条正巳 中山英太郎 船敏郎の激斗で爆発する 大辻司郎 民族のエネルギー日本 松本英千代 とスケールン
十一月二十四日(火)	二十五日(水)	両夜とも八時
日活	夜の熱帯	小林旭 松本典子 内出良平 星ナオミ 二本佑子 木島一郎
天竺色	泥だらけの純情	浜田光夫 平田木喜三 高島 稜 吉々小百合 小池朝夫 細川たか子
日活	泥だらけの純情	吉々小百合 小池朝夫 細川たか子
天竺色	泥だらけの純情	吉々小百合 小池朝夫 細川たか子

愛と善意を基にシッポは朝まで... 女への愛、愛の失失にへびる探偵の執念、
禁じられた愛花のような微笑、光のような幸福、みんなの胸の中にあたたかい香気を漂わせてくれるノ